

### 第三回YFJヘリテージ(6月17日)出席者感想文の纏め

文責・伊藤実梨(慶応義塾大学3年)

#### 1講演会のテーマについて

- ・日米学生会議参加者としては、日米関係のテーマが扱われてよかった。
- ・日米学生会議という米国との関係が重視される活動において必要と同時に、我々若い学生が持つべき教養もカバーした非常に有意義なものだったと思います。
- ・たとえ分科会のテーマが日米関係とは直接は関係がないとしても、日米の学生で話し合うとなると全ての分科会で日米関係は必要な前提知識となる。そのため今回のヘリテージで包括的な視点や知識を得ることができ大変よかった。
- ・日米関係の歴史や戦争、そして今後の展望など、各講演のテーマがとてもバランスの取れたものだったと思う。
- ・日米関係を学問的な側面はもちろん、戦争時の人々の心情の側面からも見つめることができ、とても新鮮な学びとなった。とても有意義な時間だった。
- ・JASC及びYFJヘリテージでなければ聴くことのできない講演であると同時に、ヘリテージが開かれたものであるというのを踏まえれば、ある一定の普遍性(誰しも少なくとも学生が)聴く価値があるものが良いと思います。その点では今回はすばらしいものだったと思います。

#### 2講師／講演について

- ・政治的なものだけでなく、文化的な観点からの話も伺うことができてよかった。
- ・3つの講演／講師のバランスが非常によくとれていて、良かったと思う。
- ・講師・講演の質は本当にすばらしいものだったと思います。三名の講師の方たち全員が、日米学生会議に出席しなければ直接に関われないような貴重な方たちであり、JASCに参加できて本当に良かったと思いました。

##### 2-1)孫崎様の講演

- ・これまでの米国の外交手法を踏まえて、日米関係における日本の主張の必要性を説明していただきアメリカに行く前にこの講義を聞くのと聞かないのでは、これから自分が持つべき判断基準にかなりの差が出るなど感じる程の素晴らしいものでした。
- ・アメリカの外交手法を五つに分析する見解はとても新鮮であり、今後の日本外交を考える上で大変重要になるものだと感じた。
- ・相手の手の内を知ることで自分の利益を最大化する戦略をとる、というのは外交の基本となるのだなと再認識しました。

・実際にアメリカの学生と議論する一か月間で、アメリカの学生はどのような日本に対する外交戦略をベストだと考えているのか、腹を割って議論し聞いてみたいと思いました。

・アメリカの学生と一か月間学生会議をする意義とは何かという質問に対する答えの糸口が見つかったような気がしました。

## 2-2) 梯様の講演

・原爆を落とされた広島での新しい歴史観を作り上げてきている写真集を紹介しながら、若者がなすべきタブーやぶりについて説明していただき、スタンダードに従わない態度の必要性・元々のオリジナルを恐れず新しいこと、ものを作っていく態度の重要性を伝えていただきました。

・学問的な歴史観を超えた講演は、純粹に感じることを大切にするといったメッセージがあり、日米学生会議の参加者としてだけではなく、一学生として講演を受けることができよかったです。

・戦争という激しく悲観され敬遠されがちな経験を、当時の人々の積極的な明るい心情に注目することで、より身近により新鮮に見つめ直すきっかけを頂いた。

・当時の女性のおしゃれへの気持ちを写真でびびっと感じたとき、とても親近感を抱くと共に、今までの戦争へのイメージからかけ離れた感情を抱きとても不思議な気分になりました。

・昔の記憶を新鮮に保ち、当時の人々の気持ちに寄り添って記憶を継承するためには、このような感情がとても大切なのではないかと思います。今まで気づけなかったことに気付かせて頂き、今まで感じたことのない感情を与えて下さり、本当にありがとうございました。

## 2-3) 渡部様の講演

・米中関係から見た日本を説明していただき、日米関係を重視しつつも、周りの国を巻き込んでいくべきといった広い視野を持つ必要性・米中の外交研究から得られる、多様な選択肢の提示をすることの必要性を伝えて頂きました。

・日米関係に重視しすぎていた僕にとっては、準備段階でこの講演を聴けて視野を拡げることができ本当に良かったです。

・米中関係という構図に注目することの大切さに気付かされました。特に大統領や政治家を分類する表はとても明確でわかりやすく、今後も理解の助けとさせていただきます。

・ご自身の経験を織り交ぜた質疑応答でのお話は特に興味深かったです。中国のアメリカでの動きなど、リアルタイムで起きている外交の裏舞台をお聞きすることが出来、大変貴重な学びとなりました。ありがとうございました。

### 3 講演会の時間について

- ・レセプション(夕食)に時間が食い込んでしまったのが少し残念だった。
- ・レセプションはアラムナイや社会人の方々と個人的にお話できる貴重な機会だったので、もう少しレセプションの時間が長く確保できるとより良いと感じた。
- ・講演の時間配分については、もう少し講演の後質問タイムや交流会の時間を増やしても良かったのではないかと思います。
- ・講師の方全員が学生の質問に気さくに答えてくださる素晴らしい方々であり、なおかつ出席して頂いた方たちもJASCでなければお話を聞くことも出会えることもない貴重な方たちだったので、全員に詳しくお話を聞いて回れなかったのは残念でした。

### 4. 全体としての要望・及び改善点

#### 参加者(聴講側)について

- ・やはりJASCのメンバーでほとんど固められてしまっていたのが、残念でした。
- ・定員があるにしてももう少し外部での広報をする必要性があったのではないかと思います。
- ・JASC(日米学生会議)がこれからも活動していくためには、やはり内輪だけに限らず、より広い認知が必要だと思います。ヘリテージを持つ可能性は大きく、JASC以外の学生にもJASCの特色を示せる良い機会であり、その事が援助をいただく企業の方々の認知を促進する要因になるのではないかと思います。
- ・「開かれた」会を前提とするならば、事前の広報をよりしっかりすべきだと思います。

伊藤